

令和3年度 第4回
長野市住宅対策審議会議事録要旨

日時：令和3年6月3日
午後2時から午後4時

場所：長野市役所 第一庁舎5階 庁議室

長野市建設部住宅課

長野市住宅対策審議会委員

市川 専一郎	(社会福祉法人 長野市社会福祉協議会 常務理事)
湯本 宜成	(長野商工会議所 議員・中小企業政策委員会 副委員長)
高村 秀紀	(信州大学工学部建築学科 教授)
市川 昇	(一般社団法人 長野県宅地建物取引業協会長野支部 支部長)
池森 梢	(公益社団法人 長野県建築士会ながの支部 防災委員会 副委員長)
塚田 昌宏	(長野建設事務所 建築課長)
松村 寿隆	(市営住宅 入居者)
山崎 百合子	(市営住宅 入居者)
田中 幸廣	(社会福祉法人 ながのコロニー 理事長)
北澤 百代	(長野市地域女性ネットワーク 企画部員)
柳澤 征人	(公 募)

(敬称略)

令和3年度第4回長野市住宅対策審議会議事録要旨

日時：令和3年6月3日 午後2時から午後4時まで

場所：長野市役所 第一庁舎5階 庁議室

事務局

【開会】

令和3年度第4回住宅対策審議会を開催いたします。

本年度、第1回目の審議会としまして、3つの案件につきまして諮問をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

次第に従い進行させていただきまして、終了を午後4時頃の予定としております。

本審議会の開催にあたりましては、「長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例」第6条第2項の規定により、「委員の半数以上が出席しなければ開催できない」となっております。本日は9名の委員の方々が出席しておりますので、会議は成立いたします。

また、審議会等の公開に関する指針により、原則公開とし会議の結果の内容につきましても、ホームページなどにおいて市民に開示することとなっておりますので、あらかじめご了承ください。

本日長野市住宅マスタープラン後期計画策定におきまして支援業務を委託しております東日本総合計画㈱も出席しておりますので、よろしくお願いいたします。

市長

【挨拶】

事務局

市長より諮問をさせていただきます。初めに「長野市第三次住宅マスタープラン後期計画の策定」について、諮問をさせていただきます。

市長

<諮問>

長野市第三次住宅マスタープラン後期計画の策定について（諮問）

長野市第三次住宅マスタープラン後期計画の策定について、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第2条別表の規定により、貴審議会の意見を求めます。

事務局

続きまして、「七瀬従前居住者用住宅の活用方針」について、諮問をさせていただきます。

市長

<諮問>

七瀬従前居住者用住宅の活用方針について（諮問）

七瀬従前居住者用住宅の活用方針について、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第2条別表の規定により、貴審議会の意見を求めます

事務局

続きまして、「長野市職員住宅の活用方針」について、諮問をさせていただきます

す。

市長 <諮問>

長野市職員住宅の活用方針について（諮問）

長野市職員住宅の活用方針について、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第2条別表の規定により、貴審議会の意見を求めます

事務局 ここで、市長は、別件公務のため退席させていただきますので、よろしくお願いいたします。

……………市長退席……………

事務局 それでは、審議を進めさせていただきます。

「長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第6条第1項の規定により、「会長が、会議の議長となる。」となっておりますので、高村会長に、議事の進行をお願いいたします。

高村会長 本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

本年度の第1回目の審議会となりまして、市長から諮問がありました、委員皆様から多くのご意見、ご提案をいただきまして活発な審議ができますようお願いいたします。

それでは議事に入ります前に、本日の会議について議事録を確認していただく委員を決めたいと思います。今回は池森委員と山崎委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員 了承

高村会長 それでは審議に入ります。

円滑な会議が進行できますよう、皆様のご協力をお願いします。
初めに、「長野市第三次住宅マスタープラン後期計画の策定について」事務局から説明をお願いします。

事務局 【事務局説明】
「当日スライド資料1～5について」

高村会長 ご意見・ご質問等をお願いします。

柳澤委員 SDGsとは具体的にどの様な住宅になるのでしょうか。

事務局 SDGsは持続可能な開発目標という意味で、2016～2030年までの15年間の間で世界が達成すべき開発目標を示したものであります。いろいろな分野で取り組まれており、住宅に対する目標ではありません。地球全体のあらゆる活動

に対して、環境問題などを考えながら行動するための目標です。

池森委員 「環境にやさしくゼロカーボンを目指した住まい」は分かりますが、「住環境の実現」となると意味が分からなくなります。

具体的にどういう取組をしていけば、住環境もゼロカーボンが実現できるのでしょうか。何を狙っているのでしょうか。

住宅は、断熱化などによりエネルギーを使わないマイナスの取組と太陽光の活用により Co2 を減らすというエネルギーをつくるプラスの取組による足し算でプラスマイナスゼロを目指していくというイメージですが。

事務局 「住まい」は1戸ずつと捉えられますが、「住環境」となりますと、集団として、地域・長野市として捉えることが出来るのではないかと考えております。

池森委員 ちょっと分かりにくいと思います。

事務局 表現等について検討していきます。

高村会長 大変重要なことでありますので、分かりやすく誤解のないように表現の見直しをお願いします。

池森委員 資料3の後期の検討事項の中に防犯灯の大量更新に向けた計画的な運用とありますが、個人的な意見ですが、防犯灯の色が気になっていて、蛍光色の色もバラバラであり、夜の街で見たときに蛍光色は寒々しく感じています。個人的に電球色が好きなものもあるが、まち全体で見たときの景観を考慮してもらいたい。一方で、赤い色になると防犯的に危険ではないかという意識もあるかもしれませんが、バラバラ感は統一してもいいのではないかと思います。

池森委員 2050年ゼロカーボンの実現に向けた取組とありますが、耐震関係の助成金があるのは認識していますが、断熱化することに対して助成金のような補助、あるいは税金の優遇措置など、みえているものがあるのでしょうか。

池森委員 誘導居住面積水準やバリアフリー化はどのように出しているのでしょうか。

事務局 防犯灯の大量更新につきましては、現在は、長野市全域的にLED化の推進をしています。変える時は地域ごとになるので、ご指摘のとおり、色はまちまちになっているかと思います。所管課にはそういったご意見があったことを伝え、景観に配慮した工夫をするよう相談してまいります。

事務局 断熱、ゼロカーボンに向けた支援制度について、本日資料を用意できていないため次回、お示しできるよう準備いたします。

事務局 指標について、誘導居住面積水準につきましては、これまでのマスタープラン

のP5に国で設定されている数値を示しています。

また、5年毎に実施しております住宅・土地統計調査の結果で、指標である誘導居住面積水準とバリアフリー化率の調査結果が前回より下がっている状況であります。

この調査は抽出調査のため、これまでもバラつきがございます。誘導居住面積水準については若干下がっている傾向もあり、原因について調査をしております。数値の根拠は、住宅・土地統計調査でございます。

高村会長 SDGsについては、まだ詳しく知らない方も多いので、説明や資料などを次回、開催時に用意するなどお願いします。

高村会長 続きまして、「七瀬従前居住者用住宅の活用方針について」事務局から説明をお願いします。

事務局 【事務局説明】

高村会長 ご意見・ご質問等をお願いします。

柳澤委員 施策の推進にある二段階移住の拠点の内容ですが、二拠点居住とはまた違う内容ですか。二拠点居住に非常に疑問を持っていて、そこに住まれて生活の拠点となっていれば良いのですが、テレワークなどにより一定時期だけ居住して直ぐにいなくなるのでは地域の自治やコミュニティに対し将来問題となるのではないかと考えていますが、その点についてお聞きしたいと思います。

事務局 二段階移住の内容ですが、通常、都市圏にお住いの移住希望者は、例えば長野市に移住したいと言った時に、殆どの方が市街地に移住したいと希望しているわけではなく、中山間地域の例えば古民家に憧れをもって田舎暮らしをしたいと移住を希望されている方が多いとっております。ただ、いきなりそこ入ってしまうと、今までの生活とのギャップが大きかったり、自分の思っていたイメージと違ったためにお帰りになってしまいう方も多いと聞いております。従って、中心市街地に一回お試しで第一段階の移住をしていただき、長野市をご理解していただいた上で、二段階の移住として中山間地域に移っていただくための拠点としまして、本格的な移住に繋がりたいと考えております。

柳澤委員 拠点となるそこにずっと住みたいというのはいいのですか。

事務局 長野市の市街地に住みたいといことであれば、ここに住み続けることも可能だと考えております。

池森委員 今の質問に関連してですが、二拠点居住と二段階移住の意味合いは違うと思っておりますが、多分長野市に移住したいという人は、田舎を希望されるというのはあるのですが、ここでいきなり二段階居住だけではなく、両方を記載して二

段階居住のための活用としてこれがあった方が分かりやすいのでは。これだけを見ると二段階移住を推進しているように見えてしまいますので、二通りがあって、田舎暮らしのための問題点と対策があって、それと並列して二段階居住があって選択出来るという内容にして、だから二段階居住もあります、としたほうが、より分かりやすいのではないかと思います。

池森委員　　また、多分ハード面というか、いかに空家を減らすかという視点で書いてありますが、移住後の継続ということからすると、ソフト的なところ、移住してコミュニティに入れなかったらどうなんだという時は、定住に向けてソフト面についての補助ではないが、相談など外側からも人を加えたほうがより良いのではないかと思います。

池森委員　　あと、定住者の年齢ですが、一番来てもらいたいのは子育て世帯や若い人たちだと思いますので、金額で差をつけて良いのか分からないが、年齢によって優先順位をつけたほうが良いのではないかと考えております。その辺をプラスしていただくと、より良いかなと思いますが。

事務局　　貴重なご意見をいただき参考となりました。頂いたご意見も検討させていただきながら、表現等気を付けていきたいと思っております。あと、移住される方へのインセンティブを何か与えてあげたいと思っております。ひとつの方法としますと家賃で差をつけるという方法や、庁内的に移住に関する補助というのもありますし、その辺を工夫しながら移住に繋げていきたいと思っております。

年齢層ですが、確かに子育て世帯の方や、あるいは未婚の若い方でも来ていただくありがたいですし、幅広く色々な方が移住してきていただけるような環境を作っていければと思っております。確かに若い方を中心にとすることは非常に重要であると考えておりますので、参考にさせていただきながら検討してまいりたいと思っております。

高村会長　　続きまして、「長野市職員住宅の活用方針について」事務局から説明をお願いします。

事務局　　【事務局説明】

池森委員　　ご意見・ご質問等をお願いします。

先ほどからSDGs、2050の話が出ていますので、この改修がモデルプランになるか分かりませんが、結露による問題もあるので、断熱の強化というか一定レベルまでのモデル的なマンションの改修として、他の整備していく内容とリンクしていく形での検討・提案になると、予算の問題もありますが、より良いじゃないかと思います。

1Kタイプは収納の部分をコワーキングスペースにしたり、何か提案型の折角なのでその辺のプラス思考はどうですか。

事務局 お話をさせていただきましたとおり、世帯の北側、それから単身用の東側の断熱材につきまして、他の市営住宅でも改修している経過があり、当時の断熱性能の低いものがあると聞いておりますので、予算の関係もございますが範囲内でとりあえずそれぞれ世帯用は北側、が単身用は東側の壁面の改善を断熱材を含めてやっていきたいと考えております。

また、モデル的な改修につきましても、ご提案をいただいた内容も勘案する中で予算の範囲内で行ってまいりたいと考えますので、よろしくお願いいたします。

高村会長 今のご意見に関連することですが、2050年カーボンニュートラルに向けてストック住宅の位置づけというのも大きいと思います。今年度については予算とかいろいろな関係があると思いますが、池森委員さんが言われたモデルケースですかね、こういうストックの改築について、モデルになるような提案ができるかというのではないかと思いました。

高村会長 あと私から、今年度の予算では難しいとは思いますが、電気温水器はかなり非効率で、国でもあまり推奨していないものですので、何かの機会に出来れば変えていくような方針が良いかと思っておりますので、よろしくお願い致します。

高村会長 結露の改善工事とは、結局、断熱不足の観点で断熱性能を上げていくということでしょうか。

事務局 そのとおりです。

池森委員 例えば太陽光の設置で送電するなどの合わせ技はできますか。

事務局 先ほどのマスタープランにも関連する話かなと思います。今井職員住宅に新たに太陽光をのせるとなると、今回この1年2年では難しいとは思っております。今後の住宅計画の中で取り組めればと思います。

事務局 今の話に追加させていただきますと、公共施設の屋根なし施設について、環境部で検討しておりますので、その辺の中で市営住宅等の屋根など、事業者が名乗り出て屋根を貸して長野市が電力をもらうなど、そういった方法ありますので環境部とも調整してまいりたいと思います。

高村会長 他にご意見がないようですので、以上を持ちまして本日の審議は終了し、議長をおります。

事務局 それでは、住宅対策審議会の日程についてご案内いたします。次回は7月8日木曜日、午後2時から開催させていただきます。審議内容につきましては、本日諮問した内容について引き続きご審議をお願いします。それ以降ですが8月、9

月と毎月開催し、そのあと11月、1月に開催を予定しておりますのでよろしく
お願いします。

長時間にわたるご審議、お疲れさまでございました。

以上をもちまして、第4回住宅対策審議会を終了いたします。

第4回住宅対策審議会議事録要旨を確認しました。

令和3年6月23日
長野市住宅対策審議会委員

氏名 山崎百合子

令和3年6月19日
長野市住宅対策審議会委員

氏名 池森 梢